

# 変形性膝関節症に対する APS 療法

～再生医療～  
APS: Autologous Protein Solution



- ☑ 手術を受けるには抵抗がある
- ☑ 入院、リハビリなど治療のために長期仕事を休めない
- ☑ からだに負担の少ない治療がしたい

当院では変形性膝関節症の新しい治療法として APS 療法を提供しています！

## APS療法とは

APS 療法は自身のひざ関節内に APS を注入し、関節内の炎症バランスを整えることで、炎症・痛みを改善し、軟骨破壊の抑制が期待できる新しい治療法です。

APS とは自己タンパク質溶液、Autologous Protein Solution の略称で、血液から PRP（多血小板血漿：Platelet-Rich Plasma）を分離し特別な加工を加えることで、血液から炎症を抑える良いタンパク質と軟骨の健康を守る成長因子に有効といわれる APS を高濃度に抽出します。

病態により効果が異なりますので、まずは受診してご相談ください。

## 治療方法

治療は3ステップ 日帰りで終わります。



## 費用など

### ■ 費用

片膝1回 330,000円（税込）

### ■ 受診について

完全予約制です。当院関節外科あての紹介状をお持ちの上、平日 8:30 から 17:00 に電話 046-856-3136（代表）関節外科外来へお問い合わせください。

また、当院ホームページもご覧ください。



## ■ 治療のメリット、デメリット

### <メリット>

- ・ 痛みの改善や関節可動域の拡大などが期待できます。
- ・ ご自身の血液から製造した APS を投与するためアレルギーが起こりにくい。
- ・ 日帰りでの処置が可能です。
- ・ 治療後から普段の生活が可能です。

### <デメリット>

- ・ 変形性膝関節症の根本的治療ではありません。
- ・ ご自身の血液を用いるため、治療効果や効果の持続期間に個人差があります。
- ・ 医療保険の適応ではありません。(自費)
- ・ 注射後～4 日は、まれに注入部位の腫れやかゆみ、赤みや痛みがでる場合があります。

## ■ 治療の方法

治療は日帰りで終わります。原則として麻酔は必要ありません。

1. 患者さんの腕の上腕より、血液を約 55ml 採血します。
2. 採血した血液を遠心分離機で遠心分離し、PRP 6ml を抽出します。
3. 抽出した PRP を遠心分離機で遠心分離し、APS 2.5ml を抽出します。
4. 患者さんのひざ関節内へ APS を注入します。
5. 注入後、30 分程度経過観察します。



APS の抽出

## ■ 費用 (自費)

片膝 1 回 330,000 円 (税込)

## ■ 受診について

完全予約制です。

当院関節外科あての紹介状をお持ちの上、平日 8:30 から 17:00 に電話 046-856-3136 (代表) 関節外科外来へお問い合わせください。

## APS 療法よくある質問

### Q. APS 療法による痛みの改善効果はどのくらい続きますか？

A. 海外の治療報告では、1 回注入後、約 24 カ月続くことが報告されています。

### Q. APS 療法は安全ですか？

A. APS 療法はご自身の血液を利用しているため安全性も高く、体への負担が少ない療法です。

### Q. ひざを切開することになりますか？

A. ひざの切開は必要ありません。本治療はご自身の血液から抽出した APS をひざ関節に注入するだけなので、入院不要で治療が可能です。

### Q. 高齢ですが、治療を受けることができますか？

A. からだに負担の少ない治療なので、高齢でも治療を受けることができます。ただし、ひざ関節の状態によっては年齢に関わりなく手術が適している場合もあるので、医師へご相談ください。

### Q. 高額医療費や医療費控除の対象になりますか？

A. 自由診療のため高額療養費の対象ではありません。医療費控除は管轄税務署の判断となりますので、税務署へお問合せください。